



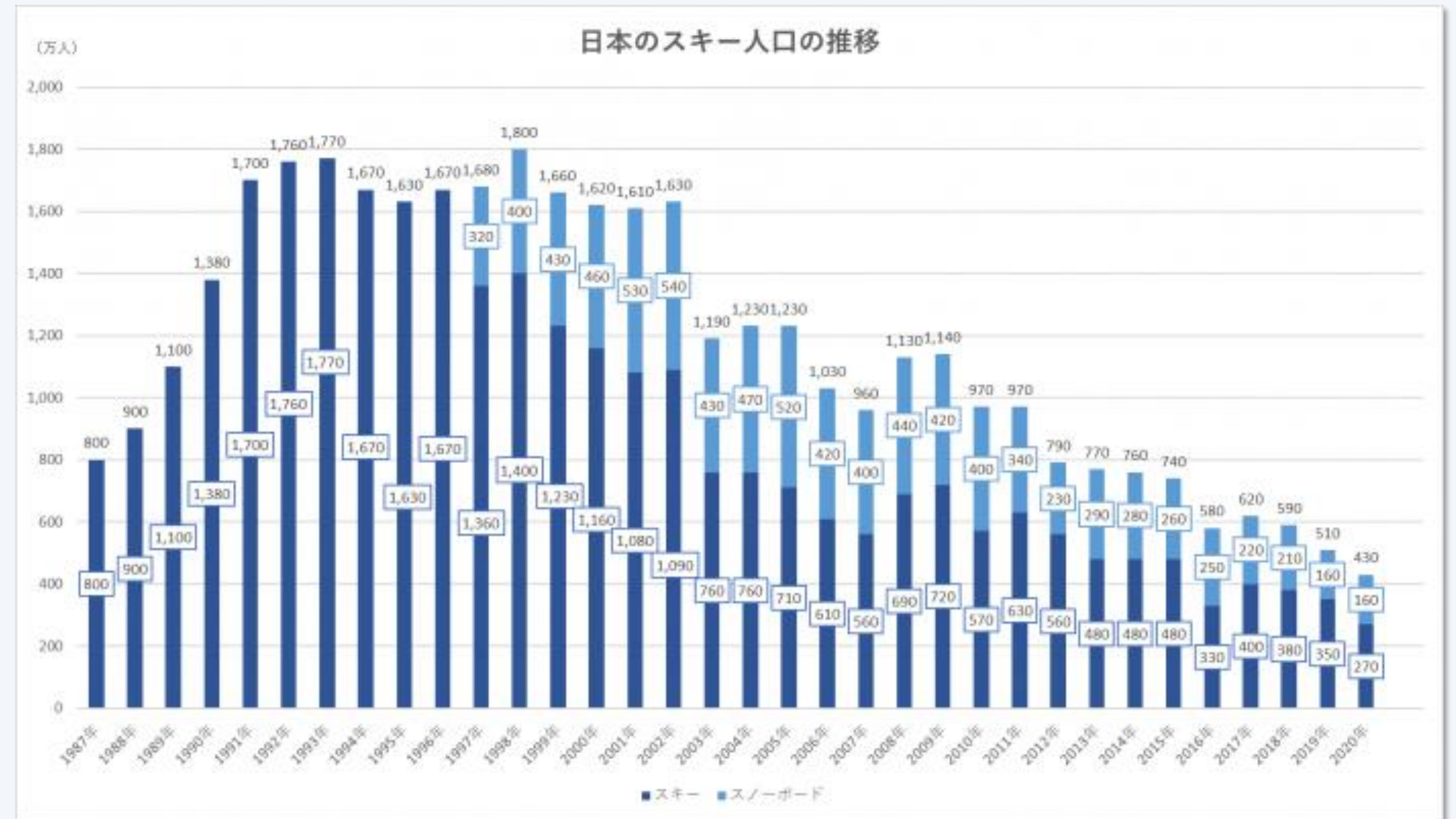
はじめに

日本のスキー・スノーボード人口は、1990年代の1,800万人ピークに減少を続け、現在は4分の1の400万人程度になっています。

新潟県においてもスキー場利用客数は1992年の1,600万人をピークに減少し、2010年代は500万人程度で推移。新型コロナの影響でさらに落ち込み、外国人利用客は伸びているものの2023年は381万人となっています。

さらに、近年では、地球温暖化の影響による降雪量の減少により、スキー場の営業期間も短くなる傾向にあり、スキー場の経営やスノーエリア全体の活性化も厳しい状況が続いています。

少子高齢化などにより、効果的な対策が打ちにくい状況の中で、スノーエリアに新たな価値観が必要になっているのではないかと考えます。



日本のスキー人口の推移
出典：レジャー白書（公益財団法人日本生産性本部）

スノーエリアの活性化に向け様々な取組がされていますが、その中でも注目されているのが、雪の中での活動が子どもの様々な成長を促進するという考え方「雪育」です。
スキーやスノーボード、雪遊び、雪国での非日常体験が子どもに与える影響は大きく、身体面の成長のほか、自己決定力や自己肯定感を育むと言われています。

【非日常的な感覚の体験】

雪の上での活動は、子どもたちにとって新鮮で刺激的な体験を提供します。
雪の冷たさや感触、白銀の世界が五感を刺激し、感覚を磨きます。

【バランス感覚の発達】

スキーやスノーボードはバランスの感覚を養うのに優れたスポーツです。不慣れな装備で滑る事により、体幹を意識し、バランス能力が向上します。

【切磋琢磨する経験】

スキー教室などで他の子どもたちと一緒に学ぶことで、協力や尊重の精神を育みます。友達との協力を通じて、社会性や協調性が養われます。

【自律性の発達】

スキーやスノーボードでは、子どもたちは自分の意志で行動し、試行錯誤を通じて課題を解決します。
これにより、自己決定力と有能感が育まれ、自律性の発達に寄与します。

【親子の絆の深化】

共通の活動を通じて親子の絆が深まります。スキー場は子どもだけではアクセスしづらいため、家族での参加が促され、共通の思い出が作られます。

これらの要素が組み合わさる事で、雪国は子どもたちの成長にとって理想的な環境を提供していると考えられます。
また、スキーやスノーボード、雪あそびは単なるスポーツやレジャーを超え、子どもたちの心と体の成長を促進し、親子の絆を育む重要な手段と言えます。

「雪育リゾートにいがた」について

新潟県が“雪育”に適している4つの理由

① アクセスがよい

高速道路インターチェンジからのアクセスが良好で、湯沢、六日町、妙高などは高速を降りて10分以内で到着できるスキー場もあります。また、新幹線駅と直結したスキー場もあり、首都圏からなら日帰りでも十分楽しめます。

② 豊富な雪量 それなのに寒すぎない

新潟県の雪量は豊富ですが、気温が低すぎないのがポイント。適度な気象条件なので、初心者、子どもでも快適に過ごすことができます。

③ 家族で楽しめる

新潟県内のスノーリゾートでは、スキー、スノーボードだけでなく、雪遊びや雪上アクティビティなどが豊富。スキー場周辺には温泉や美味しい食事処もそろい、目的に合わせてお好みのゲレンデを選べます。

④ 雪国の伝統や文化 が残っている

全国有数の「豪雪地」として知られる新潟県には、雪国の厳しい自然環境から生まれた生活の工夫や知恵が今でも見ることができます。また雪と共存したまちづくりがされていたり、雪国ならではの祭りを見る事ができます。

スキー・スノボスクール

新潟県はスキースクールが充実しており、子どもから大人、海外の方まで様々なレベルのレッスンを受けることができます。基礎スキーの技能テスト「バッジテスト」とセットになっているスクールもあり、どの程度上達したのかを知ることができ、達成感も味わえます。

詳しくはこちら



雪と遊ぶ

新潟県は冬の訪れとともに山沿いを中心に雪景色が広がります。スキーやスノーボードはもちろん、スノーシュー、そり、チュービング、スノーモービルなど雪国ならではのアクティビティが豊富。親子で楽しめるアクティビティもあり、家族で楽しめます。

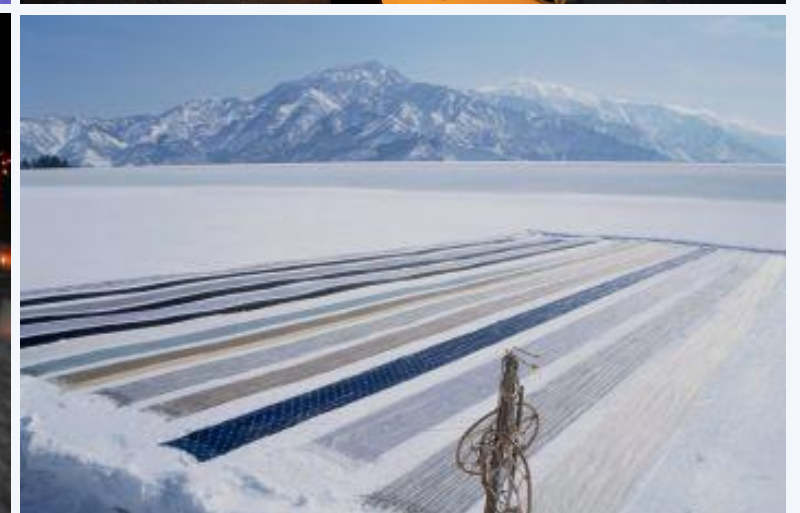
詳しくはこちら



雪国の自然、暮らし、食、まつり

世界有数の豪雪地といわれる新潟県。そこには雪の暮らしに育まれた雪国文化が存在します。人々は雪と闘いながらもその恵みを活かして暮らし、現在まで住み継いできました。文化遺産にもなっている雁木、雪を使った保存食、発酵食、雪まつりなど様々な雪国の文化に触れることができます。

詳しくはこちら



ロゴマーク／キャッチフレーズについて

ロゴマーク



山（スノーリゾート）＋本（学び） 2つを合わせて雪の結晶をイメージしたロゴデザインになります。
中央の点は、新潟に集まって共に成長を実感して欲しいといった願いが込められています。

キャッチフレーズ

雪育リゾート
にいがた

「雪育」とは、雪と触れ合う体験を通して子どもの健やかな心身の成長を促進させる考え方のこと。新潟のスノーリゾートの魅力を「雪育リゾートにいがた」として発信していきます。

サブキャッチフレーズ

親子の冬旅



公益社団法人 新潟県観光協会

〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1

電話番号：025-283-1188

<https://niigata-kankou.or.jp/snow>

